

【令和5年度事業の実施状況】

■評価基準

(A) 既に達成 (100%以上)、(B) 順調 (80~99%)、(C) やや遅れている (50~79%)、(D) 遅れている (0~49%)

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
生きる力を育むとっとり学校図書館活用教育普及事業	560				560
評価	B				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>令和4年3月に改訂した「学校図書館活用教育推進ビジョン」及び「学校図書館活用ハンドブック」をもとに就学前から小、中、高等学校まで一貫した見通しを持った学校図書館活用教育の一層の普及を図る。</p> <p>G I G Aスクール構想により1人1台端末の本格的な活用が積極的に進められている中、これからの学校図書館活用教育に求められていることを講義と演習をとおして学び、学校全体での実践につなげる研修を実施し、学校現場での図書館活用教育の推進を支援する。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>○学校図書館活用教育普及講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「AI時代における学校図書館のDX化と“新しい学び”の創造」をテーマに、東中西部の3会場で8月7～9日に開催。計138名参加。 <p>○学校司書のためのICTスキルアップ研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級講座(5月10日)、33名参加 中級講座(5月24～26日)、計86名参加 <p>○学校図書館司書研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「多様な生徒に利用される学校図書館を目指して ―これまでの取組事例の紹介と今後のサービスの可能性―」をテーマに、11月2日に開催。計29名参加。 <p>○学校図書館司書実務研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回(7月3日)、計14名参加 第2回(9月12日)、計19名参加 <p>○学校図書館支援員の研修会派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三朝町教育委員会、琴浦町教育委員会、大山町立図書館、東部小学校教育研究会図書館部会等 延べ29回 <p>○県教育センターとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任司書教諭研修、司書教諭研修で学校図書館支援員が講師を務めたり、学校図書館に関する専門研修の講師選定に関わったりした。 <p>○高校生の読書推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高校生にすすめたい本リスト」作成 高校、特別支援学校の学校図書館より紹介された高校生へのおすすめ本45冊を掲載したリストを作成し、電子データとして県内の高校・特別支援学校へ送付。 ・「すぐできる！情報検索ガイド - 図書館の便利ワザ -」「デジタルパスファインダー」作成 学校図書館を活用し、情報活用能力の育成を図ることを目的に県立高校司書主任を中心に作成。データ化しているため、生徒各自の端末での利用が可能となっている。 <p>○全国高等学校ビブリオバトル2023鳥取県大会(8校、13名)</p> <p>○授業活用選定用見本図書の貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や各市町村立図書館に紹介。合計9セットを貸出した。 ・全点購入の新刊児童図書(選定用)の利用が多かった。(4, 721冊) <p>3 事業成果(改善状況)・課題等</p> <p>○令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を会場参集及びリモート開催のハイブリット開催にしたり、同内容の研修を東中西部地区で開催したりするなど、より多くの関係者が研修に参加できるよう工夫した。 ・「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン」「学校図書館を活用することで身に付けたい情報活用能力系統表」「学校図書館年間活用計画」について、研修会や訪問相談等の機会をとらえて定期的に周知した。 					

- ・「学校図書館活用年間計画作成のための資料」について、令和6年度の小学校における教科書改訂にあわせて改定版を作成した。
- ・図書館のDX化やICT活用など、教育現場の動きを意識した研修会テーマを設定した。
- ・学校への訪問相談や市町村への研修派遣を継続し、現場主義の支援を心掛けている。

○成果及び効果

- ・各学校で学校図書館年間活用計画の策定や見直しが進み、学校図書館を活用した授業実践がこれまでより多く見られるようになった。
- ・公共図書館職員向けの学校図書館支援をテーマとして扱う研修や、公共図書館職員と学校図書館職員とが合同で実施する研修が増え、公共図書館と小・中学校図書館の連携につながっている。

○課題

- ・学校現場ではICT機器の日常活用が急激に進み、学校図書館でもICTを活用した教育活動の展開が求められている。学校図書館のDX化を見据えた資料提供や研修の開催など、学校図書館のサービスを充実させていく支援が継続して必要である。
- ・学校現場での探究的な学習の充実に資するため、学校図書館の関わり方を改めて定義していく必要がある。学校図書館関係者に留まらず、全教職員の意識を高めるための研修や情報提供を行っていく必要がある。
- ・学校図書館単独ではなく、学校全体として学校図書館をどのように運営していくべきなのかというビジョンを持つ必要がある。その働きかけのために、学校教育課や教育センターとの連携を更に密にしていかなければならない。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
デジタル化時代の知の拠点づくり事業	25,027				25,027
評価	A				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>非接触・非来館型サービスの向上及び読書バリアフリーサービスの充実に寄与するため、電子書籍サービスを新たに開始し、非来館者を含めた県民へのサービス普及を図る。</p> <p>また、地域の歴史や文化に関する資料を次世代に伝え残していくため、引き続き貴重資料のデジタル化及びデジタルアーカイブシステムの充実と利用促進を図る。そのためには、資料のデジタル化を全県的に推進し、貴重な財産を後世へ確かに継承する体制を整える必要があることから、県及び市町村の文化財・観光等の担当者を対象とした研修の機会を設け、デジタル化に関する知識や技術のある人材育成を推進する。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>○電子書籍サービスの開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス開始日：令和6年1月4日(木) ※令和5年12月1日(金)から令和6年1月3日(水)までは試行期間 ・利用できる電子書籍：Kinoden(紀伊國屋書店) ・利用可能冊数：専門書、学術書、英語多読用資料等 1,607冊 ・県立図書館のカード保有者だけでなく、市町村立図書館や学校図書館のカード保有者も利用可能 ※全国初の画期的な取組 <p>○電子図書館フォーラム「電子書籍の最新事情 何が出来る? どう変わる?」(令和6年2月3日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラム内で、電子書籍サービス導入経緯の報告や、資料紹介等の広報をあわせて実施。 <p>○資料デジタル化研修の実施(令和6年1～2月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド配信による動画視聴、「準デジタルアーキビスト」資格取得に向けた講習会及び認定試験 <p>○資料デジタル化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料のデジタル化(第2次五か年計画の1年目) 令和5年度デジタル化資料(鳥取県近代文学資料、書軸、絵画等 148点) 令和6年3月末デジタル化総数：2,424件 <p>○デジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」(以下「とりデジ」)の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館、博物館、公文書館、埋蔵文化財センターの4館合同システム 公開データ件数：約69万件(うち図書館：約21万7千件 ※令和6年5月末現在) 総アクセス件数：約96万件(うち図書館：約12万件) <p>○デジタルパスファインダー「とっとりデジタルコレクションでまなぶシリーズvol.1」の作成・公開</p> <p>○「とりデジ」の広報・研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とりデジ」掲載資料を題材とした図書館員向けのくずし字講座を実施 ・音読教室のテキストに尾崎放哉や阪本四方太等郷土文学者の作品を採用し、「とりデジ」に掲載の関連資料や当時の町の様子分かる写真などをスライドに投影し紹介 ・特別資料展「新聞と鳥取」で、「とりデジ」の地域紙見出し検索機能を紹介したチラシを配布 <p>3 事業成果(改善状況)・課題等</p> <p>○令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非接触・非来館型サービスの向上や読書バリアフリーサービスの充実に目的とし、電子書籍サービスの運用を開始した。試行期間を設けて視覚障がい者の方と操作確認等を行ったが、操作確認をする中で不便さや分かりにくさの課題が見つかり、ホームページの画面を修正するなどアクセス改善に取り組んだ。 ・調査研究に活用できるデジタルコンテンツをさらに充実させるべく、県が作成した統計、要覧等の行政刊行物データを「とりデジ」に掲載する作業を進めている。 ・デジタル化を担う人材育成のため、県・市町村の図書館、文化財担当者を対象とした研修を実施した。 ・電子書籍及び「とりデジ」に関する広報の実施に当たり、館内の既存事業と連携することで、より効果的なアプローチを図った。 ・くずし字講座の成果(翻刻文)をテキストデータ化し、「とりデジ」に掲載した。 					

○成果及び効果

- ・「とりデジ」の総アクセス件数は約96万件(うち図書館資料へのアクセス累計は約12万件)である。ジャパンサーチや国立国会図書館サーチとの連携により、全国のデジタル化資料を横断的に検索することが可能となったことで、アクセス数が伸びている。
- ・音読教室や資料展等の既存事業とあわせて広報を実施することで、イベントや展示等の参加者からも「とりデジ」についての問い合わせや反響をいただき、相乗効果が得られている。
- ・郷土資料のデジタル化を当初の予定どおり進めることができた。
- ・資料デジタル化研修やくずし字講座等の開催により、県内の図書館員や関係者がデジタル化に必要な基礎知識の習得に向かっており、デジタル化事業に関する理解が進みつつある。

○課題

- ・電子書籍サービスがあらゆる利用者に対応しより使いやすいものとなるよう、音声読み上げ対応のコンテンツを充実させるとともに、県民の意見を伺いながら引き続きホームページ等の改善に取り組む必要がある。
- ・デジタルパスファインダー等の教材開発をさらに進め、県民の教育文化・観光・研究等への利活用を推進する必要がある。
- ・「とりデジ」に加え、新たに開始した電子書籍サービスについても県民の認知度を高め、新規利用者の獲得につなげるため、これまで以上に積極的な広報を行う必要がある。
- ・「とりデジ」次のシステム更新に向け、検索・閲覧機能やデータ登録機能を改善し、公開システムと業務システムのいずれもより使いやすいものとなるよう検討する必要がある。
- ・市町村立図書館や大学図書館等、関連機関との連携を進め、コンテンツの充実を図る必要がある。
- ・資料のデジタル化を推進し、貴重な財産を後世へ確かに継承する体制を全県的に整える必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
仕事とくらしに役立つ図書館推進事業 (くらしに役立つ図書館推進事業)	7,246				7,246
評価	A				
<p>1 事業の目的、概要 図書館が所蔵する多様な資料や専門職としての司書の能力を最大限に生かし、地域の情報拠点として県民の情報要求に応え、県民の生活課題に即した情報提供を実現する。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p><医療・健康情報の提供></p> <p>○くらしに役立つ医療・健康情報サービス普及啓発事業講演会「医療・健康情報の見極め方と向き合い方」</p> <p>○認知症本人ミーティング</p> <p>○出前図書館(「鳥取市認知症フォーラム 2023」、認知症啓発イベント「知って安心！みんなで学ぼう認知症」)</p> <p>○展示「認知症を知ろう、学ぼう、考えよう」(9月)、医師会連携展示(毎月)ほか</p> <p>○医療情報サービス担当者連絡会議の開催</p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん情報ギフト(※)による情報提供(継続) (※) 国立がん研究センターが全国の図書館に寄贈しているがんに関する資料。県立図書館では医療・健康情報コーナーに設置するとともに、県内の図書館へ貸出できる「がん情報ギフト」貸出セットの見本を用意している。(県内8市町の図書館が、がん情報ギフトの寄贈を受けている。) ・県立中央病院、県立厚生病院のほっとこーなー管理(1か月ごとに入替) <p>※県立中央病院は新型コロナウイルス感染症等の影響で中止していたが、令和5年6月から再開。</p> <p><法情報・困りごと解決支援情報の提供></p> <p>○「法テラスの日」記念 休日無料電話法律相談会</p> <p>○関連機関と共同で相談会(会場：県立図書館)</p> <p><子育て応援情報の提供></p> <p>○「読みメンになろう！」プロジェクト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読みメン月間の企画展示 ・読みメンのおはなし会(男性職員による絵本の読み聞かせ) <p>○託児サービス「託児で来ぶらり」</p> <p>○「子育て応援コーナー」の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に来館した利用者が子育てに必要な情報を1か所で得られるよう、児童図書室の入口にコーナーを設置している。(令和5年度貸出冊数 3,461冊) <p><高齢者サービス情報の提供></p> <p>○あたまイキイキ音読教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当館で開催する音読教室を5月から再開。 ・11月に日本海ケーブルネットワーク、鳥取中央有線放送、中海テレビ放送でテレビ音読教室を放映。 <p>○「セカンドライフを楽しむための情報活用講座」の開催</p> <p>○「いきいきライフ応援コーナー」の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超高齢化が進む中、中高年齢者に関心の高い分野の図書を提供するとともに関連する図書の展示を行った。(令和5年度貸出冊数 9,185冊) <p><障がい者サービス情報の提供(障がい者に配慮した「はーとふるサービス」推進事業)></p> <p>○鳥取県読書バリアフリー推進に係る関係者協議会</p> <p>「鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画」に基づく鳥取県の読書バリアフリー推進事業等の取組状況等について、事業等の評価や進行に関する有識者等の意見を聴取することを目的として開催した。</p> <p>○はーとふるサービスを紹介したリーフレットの改訂</p> <p>○わいわい文庫「日本昔話の旅」(マルチメディアデイジー図書)の製作</p> <p>○サピエ図書館普及イベント「本を聞いて楽しむこともできます ～いろいろな読書のカタチ～」の開催</p> <p>○手話で楽しむおはなし会</p>					

○バリアフリー映画上映会

○障がい者サービス実務担当者会

図書館サービスの向上を目指し、図書館利用に障がいのある方々に対する各館の取組について情報共有や協議を行うことを目的として開催した。

○アクセシブルな書籍等所蔵数

令和5年度17,786点 令和4年度17,675点・・・111点増

○アクセシブルな書籍等貸出数

令和5年度16,858点 令和4年度16,485点・・・373点増

○障がい者サービス用機器の充実

- ・電子ループ、携帯型拡大読書器、デジタイズ機等の購入

○展示

- ・世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間（3月1日～4月29日）
- ・手話言語条例、制定10周年！（11月10日～12月27日）
- ・バリアフリー映画上映会関連展示（3月1日～3月30日）

○その他

- ・読書バリアフリー啓発パネルの貸出（公共図書館6館、高校1館、特別支援学校1館、大学2館 計10館）

3 事業成果(改善状況)・課題等

○令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・くらしに役立つ医療・健康情報サービス普及啓発事業講演会を会場参加及びオンライン参加のハイブリッド開催とし、さらに市町村立図書館の協力のもとサテライト会場を4会場設置して、遠隔地の方も参加しやすくなるよう配慮した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた会場参加型の音読教室を、時間短縮(40分)及びスクール形式といった感染症対策をして5月から再開した。「とっとりデジタルコレクション」や電子書籍の紹介等内容を工夫した。
- ・認知症本人ミーティングで図書館ツアーを行い、館内の案内表示や貸出レシート等について認知症の方でも利用しやすくなるための提案をいただいた。
- ・令和2年度に策定した「鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画」や、図書館の読書バリアフリーの取組や障がいに配慮した様々な資料や機器について周知・啓発するため、関係機関等と連携し「ロービジョン相談窓口サロン」や「子供のための福祉機器展」「鳥取県身体障がい者福祉大会」等で資料や機器を紹介し貸出を行う出前図書館を行った。また、サピエ図書館の普及を目指し、多くの方々が集まる県内の商業施設で普及イベントを行った。

○成果及び効果

- ・くらしに役立つ医療・健康情報サービス普及啓発事業講演会では、医療・健康関連の情報リテラシー向上に資する内容を取り上げ、一般の方にもわかりやすくご講演いただいた。
- ・認知症本人ミーティングで出た意見を基に貸出レシートや日限票を視認性の高いものに変更し、窓口で「レシートが見やすくなった」という声を複数いただくようになった。
- ・視覚障がい者や発達障がい者だけでなく肢体不自由者への支援も目的に、新たに作業療法士会とも連携したバリアフリー資料展示を行い、支援する方にも読書バリアフリーを知っていただくきっかけとなった。

○課題

- ・県内の医療・健康情報サービスの実態を把握し、医療・健康情報サービスの一層の周知及び市町村立図書館との連携によるサービスの充実を図る必要がある。
- ・県内の障がい者サービスの実態を把握し、障がい者サービスの一層の周知及び市町村立図書館との連携によるサービスの充実を図る必要がある。
- ・「鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画」を一般県民や関係者等に周知するとともに、計画に基づいた具体的な取組を関係機関等と連携して実施していく必要がある。
- ・読書に困難さのある方々を支援する資料や機器について広く周知し、支援する側の方も含めた読書バリアフリーを推進していく必要がある。

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
仕事とくらしに役立つ図書館推進事業 (図書館ビジネス支援推進事業)	(再掲) 7,246				(再掲) 7,246

評価

B

1 事業の目的、概要

県全域での図書館のビジネス支援体制を推進するため各地域の図書館と協力し、全域でのビジネス支援サービスの定着、利用者の掘り起こしに取り組む。産業振興や雇用を創出することは地域活性化を考えるうえで極めて重要な課題であり、商工団体、産業支援機関との連携を強化し、図書館の機能を生かしたビジネス支援を積極的に行っていく。

2 事業の内容、実施の状況

○「農と食を繋げるビジネス情報セミナー」の開催

○「夢・実現スタートアップ創業勉強会」の開催

※今年度はINPIT知財総合支援窓口から知財を紹介。相談会にも同席。

○ビジネス支援サービスチラシの改訂

○「としょかんビジネストーク」ホームページへの追加掲載

掲載開始日	令和6年3月22日(金)～
URL	http://www.library.pref.tottori.jp/business/cat6/new.html
掲載企業(2件)(敬称略)	のとう接骨院・稲妻飯店

※図書館で開催する各種相談会・セミナー・資料相談等で得た情報を、起業・経営等に役立てご活躍されているビジネスパーソンにインタビューを行い、記事をホームページに掲載した。

○商工労働関連研修会、イベントへの出前図書館等の実施(6回) (4～3月)

○ビジネス情報研究会の開催 (4～3月)

・県立図書館司書と「鳥取県よろず支援拠点」の相談員による相談会。相談者が求めるビジネス情報の検索は司書が行い、経営相談は鳥取県よろず支援拠点の相談員が行う。

○関係機関と連携した定期相談会を開催(会場：県立図書館) (4～3月)

・連携先は日本政策金融公庫、鳥取県中小企業診断士協会、INPIT鳥取県知財総合支援窓口

○県立図書館と産業支援機関との連携事業

・高校生ビジネスプラン作成講座の開催 (日本政策金融公庫との共催)

・「J-PlatPat 操作方法実務講習会」(INPIT鳥取県知財総合支援窓口との共催)

・「貿易講座」の開催 (ジェトロ鳥取との共催)

・「ブランディングセミナー」の開催 (ジェトロ鳥取との共催)

・「インドビジネスセミナー」の開催 (ジェトロ鳥取との共催) ※ジェトロ鳥取とのセミナーを3回実施

○企画展示「鳥取県認定グリーン商品リレー展示2023」の開催

内 容	鳥取県認定グリーン商品リレー展示2023	
展 示 物	鳥取県認定グリーン商品の実物展示、紹介パネルの展示など	
主 催	鳥取県認定グリーン商品普及促進協議会	
展 示 館	4館(県立1館、市町村1館、高等学校2館)	
期 間	10月27日(金)～令和6年2月7日(水)	
	展 示 館	展 示 期 間
(県立図書館)		
	鳥取県立図書館	令和6年1月4日(木)～2月7日(水)
(市町村立図書館)		
	琴浦町図書館	11月15日(水)～11月28日(火)
(高等学校図書館)		
	倉吉西高校	10月27日(金)～11月22日(水)
	倉吉東高校	11月27日(月)～12月20日(水)

※循環資源を活用した製品の展示物とともにグリーンイノベーション・SDGs・カーボンニュートラルなどとリンクさせ、関連図書等を図書館で展示した。

3 事業成果(改善状況)・課題等

○令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・新たにジェトロ鳥取との連携によるセミナー(3本)を行った。
- ・ビジネス支援を周知するためのチラシの内容を改訂し、広報に活用した。
- ・相談会を共催する機関と密な意見・情報交換を行い、意思疎通を図った。
- ・講座等の開催に際しては、市町村立図書館と協力し、事前準備・役割分担等を行った。
- ・講座や出前図書館等で参加者へ県立図書館や市町村立図書館のビジネス支援について周知した。

○成果及び効果

- ・報道機関や経済学部の大学生の卒業論文のテーマとして取り上げられるなど、多くの方知ってもらいきっかけとなった。
- ・図書館を活用して開業された方を取材し、ホームページ内で紹介することができた。
- ・「ビジネスプラン作成講座」は米子会場を加えた2会場で開催し、西部地区の高校生にもビジネスアイデアの発想法や図書館の活用法について学べる機会を作ることができた。
- ・「夢・実現スタートアップ創業勉強会」を鳥取県よろず支援拠点及び共催館と連携して開催し、関係が強化できた。図書館からも情報提供を行い、図書館が情報収集に役立つ場であることを効果的にPRできた。
- ・積極的に出前図書館で図書館活用の説明を行った結果、当館の各種利用につながった。
- ・金融機関からの紹介で資料相談を目的に来館されるケースや、産業支援機関の職員が調査のための資料相談で来館されるケースが増えており、図書館のビジネス支援機能への理解が進みつつある。

○課題

- ・無料の相談会があることや関連団体を紹介できること、商用データベースの利用等、図書館のビジネス支援機能を広く県民に知ってもらえるような発信を積極的・魅力的に行う必要がある。
- ・市町村立図書館員に図書館におけるビジネス支援の重要性を伝え、関心を高めるとともに、講座やセミナー、出前図書館等を市町村立図書館と連携して実施しながら運営方法、機材等の情報共有を行い、中西部地域でもビジネス支援サービスを拡大していく必要がある。
- ・当館で行ったビジネスに関する展示等を県内図書館や学校図書館等で行い、図書館のビジネス支援機能に係る認識を広め、活動を県内に浸透させていく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
人の成長・学びを支える図書館推進事業	265				265

評価**B**

1 事業の目的、概要

経済的に困窮する家庭や、ひとり親家庭等(以下「サポートの必要な家庭」とする)で育つ子どもたちに子どもの読書推進を図るため、子どもたちに日常接する職員(公共図書館職員、学校関係職員、幼稚園教諭、保育士等)の養成や市町村立図書館児童図書部門の支援を行う。

2 事業の内容、実施の状況

<子ども読書活動推進>

○児童サービス専門講座の開催

・年1回県外講師を招聘し、児童書や児童サービスについての理解を深める講座を実施。

○児童サービス実務研修の開催

・年3回県内講師を招聘し、ストーリーテリング、絵本の読み聞かせ等の実技を中心に、児童サービスの基礎についての研修を市町村立図書館との共催で実施。

○市町村立図書館実務担当者会連絡会(児童サービス)の開催

○各種おはなし会、こども向けイベントの開催

名称	内容・期日等		参加者等
こども読書週間	4月14日(金)～5月10日(水) おはなしパスポートや本の福袋を用意。普段読まないジャンルの本に触れてもらう機会とした。		—
夏休み図書館まつり	8月2日(水)	図書館たんけん隊	23名
	8月5日(土)	防災クイズ&紙芝居	9名
「えほんのじかん」	毎週火曜日開催	375名(大人187名、子ども188名)	
「おはなし会」	第4を除く日曜日	子ども88名	
「大人も楽しむおはなし会」	毎週土曜日	99名(大人37名、子ども62名)	
新刊児童図書の選定用貸出	市町村立図書館等へ貸出		4,721冊

「ドリームティーンズコーナー」

・10代青少年の問題意識や興味に沿った資料収集やコーナー展示を実施、ホームページや通信の発行等による情報発信を行った。

展示テーマ：「こたミス、復活！」 (貸出冊数 337冊)

「見た目で見えませんでした。」 (貸出冊数 123冊)

「秋色本棚」 (貸出冊数 109冊)

・「児童×ドリームティーンズ」(児童書から10代向けの読み物への橋渡しとなるよう、登場人物が概ね中学生以上の児童書を配架したコーナー) (貸出冊数 2,530冊)

時宜に応じた児童図書室の資料展示を実施。

展示テーマ：「夏だ！夏だ！！」 (貸出冊数 503冊)

「おいしい秋がやってきた」 (貸出冊数 435冊)

「みんなだいすきクリスマス」 (貸出冊数 662冊) ほか

※各おはなし会は定員制、事前申込制。

<「サポートの必要な家庭」応援事業>

○「図書館＝居場所キャンペーン」

倉吉博物館で開催された「ヨシタケシンスケ展かもしれない」に併せて、県立図書館及び倉吉市立図書館、倉吉博物館で「図書館＝居場所キャンペーン」を周知する展示を行い、他の市町村立図書館でも「図書館＝居場所！キャンペーン」を実施した。(図書館＝居場所キャンペーンのイラストとキャッチフレーズは、ヨシタケシンスケ氏による)

○展示「ストップ！DVなくそう！児童虐待」(11月)

3 事業成果(改善状況)・課題等

○令和5年度の事業実施にあたり改善等に取組んだ点

- ・県内図書館が連携して子どもの読書環境を充実していけるよう、コロナ禍で実施できていなかった対面での実務担当者連絡会や実務研修を開催し、担当者同士のつながりを作る機会となるよう取り組んだ。
- ・実務研修では、特に初めて児童サービスを担当される方が、実践や意見交換を通じて互いに学び研鑽し合うことで県内各図書館における児童サービスのさらなる充実につながるよう、子どもと本をつなぐ手法や児童サービスの基礎について学ぶ研修を開催した。第1回は「赤ちゃん向け絵本の読み聞かせについて」、第2回は「幼児から小学校低学年頃を対象とした絵本の読み聞かせについて」、第3回は「POPの書き方について」をそれぞれ市町村立図書館と共催で開催した。
- ・昨年度まで、おはなし会等のイベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した回も多く、開催できる場合も定員制・事前申込制で実施していたが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからは定員等を無くし、多くの方に参加いただけるよう取り組んだ。
- ・ガイナレ鳥取のホームゲームや、鳥取県立博物館「アインシュタイン展」等で読み聞かせと出前図書館を実施し、当館の取組について広く県民の方に知っていただけるよう取り組んだ。

○成果及び効果

- ・おはなし会や図書の企画展示、おすすめ本の紹介などの活動は、より親子で本を楽しむことや子育てに読み聞かせを取り入れることの良さが認知されることにつながっている。
- ・夏休みの新たな取組や出前図書館は、非来館者や通常のおはなし会に参加したことのない利用者に当館の読み聞かせを体験してもらう機会となった。
- ・平成30年度以来の開催となった市町村立図書館実務担当者会連絡会(児童サービス)では、県内の子どもの読書環境充実に向け、各館の取組や日常の課題等について情報共有を図ることができた。
- ・美術展会場に「図書館＝居場所キャンペーン」のパネル等を展示したことで、居場所としての図書館の機能を非来館者に周知することができた。

○課題

- ・おはなし会をはじめ、当館が行っている子どもと本をつなぐための取組について、改めて周知を図り利用を促す必要がある。
- ・「サポートの必要な家庭」応援事業を進めるにあたっては、関係機関や市町村立図書館との連携が必須であり、関係機関のイベントにおける出前図書館や市町村立図書館への情報提供により、事業の充実に努める必要がある。

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
郷土情報発信事業	2,177			121	2,056

評価

B

1 事業の目的、概要

郷土資料(地域資料)の収集・保存を進め、後世へ伝えるとともに、郷土資料の普及・啓発、郷土関係文学者情報の発信等を行い、利用促進を図る。

2 事業の内容、実施の状況

鳥取県の歴史・文化、文学、郷土出身人物等に対する県民の関心を高めるため、関係機関、団体とも連携しながら、資料展、講演会等を有機的に組み合わせて開催した。

- ふるさとの歴史再発見事業
- 郷土文学者情報発信事業
- 「文字・活字文化の日」関連事業
- その他の企画展示等

3 事業成果(改善状況)・課題等

○令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・特別資料展「鳥取と新聞—新聞が伝えるふるさと—」では、近代的な新聞が鳥取で発行されてから150年を迎えたことを機に関係機関、公共図書館、地元新聞社と連携し、多くの資料を借用展示した。また、資料展期間中に関連講座「新聞の役割について考えよう」を行った。
- ・特別資料展「アマチュア演劇を生きる—鳥取県立図書館所蔵難波忠男寄贈資料を中心に—」では、鳥取大学地域学部と共催し、同大学教授による研究成果の発信を通じ資料を紹介した。
- ・郷土文化講演会「生誕150年記念『鳥取近代俳句史における阪本四方太と彼に続いた俳人達』」では、県出身の俳人達を知る講演会を行った。
- ・郷土文化講演会+定有堂「読む会」フォーラムでは、実行委員会と共催し、民間での読書運動や図書館の取組を知る講演及び鼎談を行った。
- ・昨年に引き続き県内図書館員向けの古文書解説講座(4回連続)を開催し、とっとりデジタルコレクションで公開している古文書の解説に取り組んだ。
- ・鳥取県内の話題・歴史事象等をテーマとした多くの企画展示等を行った。
- ・市町村立図書館職員向け講座や行政職員向け研修(主催：鳥取県職員人材開発センター)で郷土資料の活用についての講義を行った。

○成果及び効果

- ・特別資料展、郷土文化講演会、企画展示等に関係機関や民間企業・団体と連携して開催したことにより、鳥取県の歴史・文化・人物等の情報を様々な視点から発信することができ、県民が学ぶ有意義な機会を提供できた。また、講演会を会場のほかオンラインでも行い、多くの人に参加していただく機会を設けることができた。
- ・図書館員対象の古文書講座を継続開催したことにより、郷土の文学作品等の翻刻をとっとりデジタルコレクションに掲載することができた。図書館員のスキル向上により、地域資料の収集・保存やレファレンス対応等に生かすことが期待できる。
- ・県民及び図書館職員対象の事業を開催することにより、県内全域への郷土資料の周知と活用が期待される。

○課題

- ・郷土資料の収集・整理、郷土情報の蓄積を行い後世に伝えていくとともに、県民が鳥取県に愛着や誇りを持てるような取組を積極的・魅力的に行っていく必要がある。
- ・これまでに県立図書館が行った展示等を外部でも行ってもらうなど、県内公共図書館・学校図書館、関係機関等と連携し、県内全域に郷土情報の周知と活用を促進していく必要がある。
- ・郷土資料の保存環境の点検を行い、災害等で滅失・破損等しないよう対策を強化するとともに、郷土資料のデジタル化を推進し、利活用の普及啓発に努める必要がある。

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
図書館国際交流事業	4,800				4,800

評価

B

1 事業の目的、概要

環日本海諸国(韓国・中国・ロシア)の原書やその地域について記述された日本語図書の収集・提供を行うとともに、様々な事業を通じて鳥取県(県民)と環日本海諸国との交流を促進する。また、英語教育や国際理解教育の推進等世界で活躍する人材育成につながる情報収集・提供に努める。

2 事業の内容、実施の状況

○環日本海諸国の図書館図書交換事業

・協定を結んでいる環日本海諸国の図書館との図書交換は以下のとおり。

中国河北省		韓国江原道		ロシア沿海地方		モンゴル	
河北省図書館		春川市立図書館		・ゴリキー図書館 ・沿海州児童図書館		中央県D. ナツアグドルジ記念公共図書館	
送付	受領	送付	受領	送付	受領	送付	受領
112冊	121冊	145冊	124冊	—	—	20冊	20冊

※ロシア沿海地方(ゴリキー図書館、児童図書館)については、県がロシアとの交流を凍結しているため、送付を見送っている。

○関係諸国の資料整備

・環日本海交流室・国際交流ライブラリーの閲覧用資料を購入
(図書1,760冊、雑誌38種、新聞4種)

○国際交流ライブラリー講演会の開催

○英語に親しむワークショップの開催

○多文化を知るイベント「図書館で『韓国』を楽しもう」の開催

○国際交流ライブラリー企画展示

- ・国際交流、講演会に関する企画展示
- ・鳥取県が交流している国や地域に関する企画展示(県交流推進課と連携)
- ・ピーナッツコレクションに関する展示

3 事業成果(改善状況)・課題等

○令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・小学校でも英語教育が必修となる中、英語を楽しく学ぶ方法を推進するため、市町村立図書館(南部町立図書館)との共催による「英語に親しむワークショップ」を初めて開催した。
- ・令和3年度からモンゴル中央県と図書交換事業を始めたこともあり、モンゴルをテーマとした国際交流ライブラリー講演会を開催した。主会場のほか市町村立図書館等のサテライト会場の設置と自宅等でのオンライン視聴も可能とし、参加しやすい形式とした。
- ・市町村立図書館への普及を目的として、多文化を知るイベントを琴浦町図書館との共催で開催した。
- ・企画展示では、国際交流に関する県政やその時々話題等をテーマに関連図書を紹介した。
- ・タイムフェスティバル(国際交流団体や在住外国出身者等がそれぞれの活動、国を紹介する催し)に出展し、国際交流ライブラリーの紹介や本の貸出を行った。また、AFSの留学生(高校生)に協力いただき、絵本の読み聞かせと文化紹介も行った。
- ・外国語図書の専門書店(東京)での現物選書を行い、外国語図書の充実に努めた。

○成果及び効果

- ・初開催の「英語に親しむワークショップ」では、当館の所蔵資料を利用した英語の楽しみ方や、英語を習得することの利点を学ぶことができた。終了後にも関連図書の貸出や問合せがあり、関心の高さがうかがえ、英語や多文化を知るきっかけづくりの必要性を実感した。
- ・国際交流ライブラリー講演会では、関係団体やモンゴル出身者の参加もあり、モンゴルについて関心を深める機会を提供することができた。同年に開催された「モンゴル中央県設立100周年記念事業」に参加した当館職員による報告も行うことができたため、開催後は関連図書の貸出も多くなり、図書館利用の促進につな

がった。

- ・市町村立図書館との共催で行った「英語に親しむワークショップ」「多文化を知るイベント」では、図書展示も行い県民の国際理解や環日本海諸国等への関心を深める機会を提供することができた。

○課題

- ・所蔵する英語資料を活用し、英語への興味関心をさらに深めるための工夫や取組を行う必要がある。
- ・当館の国際交流ライブラリーや環日本海交流室が多文化理解や県内在住外国人との交流の拠点となるよう、国際理解のための講演会や行事等を開催し、さらなる利用の促進を図るとともに、市町村立図書館や関係課・関係団体と協力し、レファレンスや資料提供、外国語学習等の支援の充実に努めていく必要がある。
- ・環日本海諸国に係る資料や情報の収集と充実に努め、県内在住外国人の支援及び県民の国際理解を促進していく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
市町村立図書館等協力支援事業	9,220				9,220

評価

B

1 事業の目的、概要

市町村立図書館等の機能向上を図るため、資料・情報を提供すると共に、各館の職員のスキルアップを目的とした研修会・講座を開催する。各館と連携し、住民に対し図書館利用を啓発する事業を実施する。県全体の図書館サービスの高度化を図り、相互連携するためのネットワークの要としての役割を果たす。

2 事業の内容、実施の状況

市町村立図書館等に対し、宅配便によるリクエスト本の配送、一括大量貸出、資料相談を行った。司書の技術向上を図るため、以下の研修事業を実施した。また、新規事業として図書館への来館促進を目的としたキャンペーンを全県で実施した。

<令和5年度までの市町村立図書館等への貸出冊数>

支援先	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市町村	54,282冊	53,352冊	53,884冊	54,317冊
高等学校	29,031冊	26,922冊	23,383冊	20,222冊
特別支援学校	17,200冊	14,659冊	12,862冊	13,749冊
病院図書室	4,582冊	2,160冊	2,185冊	3,536冊
大学・団体・その他	3,389冊	3,088冊	3,336冊	3,136冊
合計	108,484冊	100,181冊	95,650冊	94,960冊

○図書館業務専門講座

- ・高度化・多様化する利用者のニーズに対応するため、図書館職員のスキルアップを目的とした研修を実施した。
テーマ：図書館経営(6月9日)参加25名、障がい者サービス(8月25日)参加28名、図書館等公衆送信サービス(9月15日)参加37名、自治体全域サービス(3月15日)参加26名

○図書館業務専門講座+α

- ・くずし字の解読することを目的とした連続講座を実施
基礎編(11月30日)、実践編(1月17日、2月15日、3月6日)参加合計31名

○新任職員のための図書館職員実務研修会(4月21日)参加35名

○県立図書館職員が講師を務めた研修

- ・市町村立図書館職員のスキルアップのため、希望する図書館の研修会に出向き研修を行った。
※学校図書館支援員の派遣は「生きる力を育むとっとり学校図書館活用教育普及事業」でも実績報告

○実務担当者連絡会

- ・児童サービス、障がい者サービスの担当者による情報交換を実施。

○図書館へ行こう！キャンペーン(10月1日～12月3日)

- ・秋の読書週間(10月27日～11月9日)にちなみ、鳥取県立図書館と市町村立図書館が共同で「図書館へ行こう！キャンペーン～みんなの図書館！みんなで図書館！～」を実施した。各図書館がミッションを設定し、クリアしたミッションの数に応じて賞品をプレゼントした。

○各種委員を務めた事例

委員の名称・委員名	任期
岩美町立図書館協議会委員	令和4年4月1日～令和6年3月31日
わかさ生涯学習館運営委員会委員	令和5年4月1日～令和7年3月31日
琴浦町図書館協議会・委員	令和5年4月1日～令和7年3月31日
第3次琴浦町子供の読書活動推進計画策定委員	令和5年6月1日～令和6年5月31日
江府町図書館協議会委員	令和5年4月1日～令和7年3月31日
境港市図書館協議会・委員	令和5年10月1日～令和7年9月30日
文部科学省 子供の読書活動の推進に関する調査研究(読書活動の推進に携わる人材の育成)調査検討委員	令和5年8月15日～令和6年3月31日

3 事業成果(改善状況)、実施の状況

○令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・5月以降、新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、市町村立図書館の要望等により、図書館業務専門講座をより参加しやすいハイブリッド開催とした。
- ・市町村立図書館(含:学校図書館との合同研修)を対象とした研修会への講師派遣を行い、研修テーマの担当部署職員が講師を務めた。各館職員のみならず、当館職員のスキルアップにもつながった。

○成果及び効果

- ・講座のハイブリット開催により、1館から複数の参加が可能になり、移動時間に係る受講者の負担も軽減された。しかし、直接顔を合わせる機会の減少の要因ともなっており、市町村間の横のつながりが弱くなっている。
- ・研修では図書館経営、障がい者サービス、著作権等、市町村立図書館でのニーズの高いテーマを取り上げ、公共図書館の課題意識や情報の共有を図ることができた。
- ・「図書館へ行こう！キャンペーン」を県立図書館と県内全市町村立図書館で実施し、入館者を数えることのできる図書館において、期間中、前年度と比較し合計で8,929人増となった。全県で図書館活用をPRすることができた。

○課題

- ・支援の充実のためには、各館への訪問回数を増やし、更なるコミュニケーション、現場のニーズを把握することが必要である。
- ・図書館が知の情報拠点としてこれまで以上に活用されるよう、図書館のサービスや機能を広く県民に知ってもらうための市町村立図書館と協力した一層の取組が必要である。
- ・社会の急激な変化に伴い、県内公共図書館におけるデジタル化への支援が必要である。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
図書館運営費(資料購入整理費)	99,555	7,496		3,481	88,578

評価

B

1 事業の目的、概要

○目的及び事業の実施状況

多様化・高度化する県民の要望に的確に対応するため、あらゆる分野の最新資料、専門的な資料、郷土資料、市町村や学校を支援する資料等、蔵書の充実を図る。

2 事業の内容、実施の状況

○図書及び逐次刊行物の整備充実

・県民の専門的な要求にも応えられるよう資料の充実を図り、逐次刊行物については広範な分野で最新の情報が提供できるよう充実に努めた。

○不要資料の除籍による書庫スペースの確保

・複本や旧版のある資料、内容が古く利用のない資料、毀損により状態の悪くなった資料等の除籍を行った。

<資料の整備状況>

(単位：冊)

区分	令和4年度末冊数	購入等 (寄贈含む)	除籍	計	令和5年度末冊数	
蔵書合計	1,254,109	26,562	△6,873	19,689	1,273,798	
内 訳	一般	863,457	18,595	△5,800	12,795	876,252
	郷土	153,818	2,875	△8	2,867	156,685
	児童	128,131	3,288	△89	3,199	131,330
	協力	85,494	1,602	△931	671	86,165
	その他	23,209	202	△45	157	23,366

3 事業成果(改善状況)・課題等

○令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・電子書籍サービスを開始した。
- ・県政・地域の課題への対応や県民の豊かな暮らしをサポートするため、ビジネス支援や医療・健康情報サービスなどの課題解決型サービス実施のための資料の充実を図った。
- ・人の成長・学びを支えるための子どもの読書推進、学校図書館支援、生涯学習を支援するための資料の充実を図った。
- ・不要資料の除籍を行い、書庫の空き容量を確保し、資料を移動することで書架の狭隘化の改善に努めた。

○成果及び効果

- ・電子書籍サービスの導入により、遠隔地居住者の利便性の向上や図書館利用に困難のある方などの読書バリアフリー環境の充実を図った。
- ・市町村立図書館では持つことの困難な専門書・技術書など多様な内容の資料を収集することにより、県民が必要とする資料の提供を行った。
- ・探究学習や総合的な学習などに活用できる資料の貸出により、学校図書館支援を行った。
- ・除籍や書庫の整理により書庫の空き容量を確保し、書架の狭隘化の状態を一部改善した。

○課題

- ・電子書籍サービスの一層の周知を図り、利用の拡大に努める必要がある。
- ・多様化、高度化する県民の要求に応えるために、専門家の助言を参考にしながら最新の資料を幅広く収集する必要がある。
- ・郷土資料については、出版情報を逐次確認しながら、網羅的な収集に努める必要がある。
- ・蔵書数の増加により書庫の空き容量が減少してきているので、今後の資料増加に対応するため、不要資料の除籍を継続的に進め、空き容量を確保していく必要がある。

各種開催事業の状況

(単位：人)

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
生きる力を育むとっとり学校図書館活用教育普及事業		
学校図書館活用教育普及講座(対象：小中学校・特別支援学校教職員・市町村教育委員会指導主事)	内容：「A I 時代における学校図書館のD X化と“新しい学び”の創造」(講義と演習) 講師：青山学院大学教授 開催日：8月7日(月)～9日(水) 場所：県立図書館、倉吉体育文化会館、県立武道館(リモート)	138
学校図書館司書実務研修会	【第1回】 内容：「多様な学びをはぐくむ学校図書館の運営～探究学習への取組を中心に～」(講義と演習) 講師：鳥取西高等学校司書主任 開催日：7月3日(月) 場所：鳥取西高等学校 【第2回】 内容：「蔵書構成と図書委員会活動について」 講師：米子高等学校司書主任、米子南高等学校司書主任 開催日：9月12日(火) 場所：米子南高等学校	33
学校図書館司書研修会	内容：「多様な生徒に利用される学校図書館を目指して—これまでの取組事例の紹介と今後のサービスの可能性—」 講師：岡山県立高等学校司書 開催日：11月2日(木) 場所：県立図書館(リモート)	29
学校司書のためのICTスキルアップ研修	内容：初級「Google Workspaceの仕組みとアプリの基本的な操作について」、中級「Googleサイトの作成、コンテンツの追加、ページの追加、公開等」 講師：Google 合同会社認定講師 開催日：5月10日(水)、5月24日(水)、5月25日(木)、5月26日(金) 場所：県教育センター、米子コンベンションセンター、倉吉未来中心	119
全国高等学校ビブリオバトル2023鳥取県大会	開催日：12月10日(日) 場所：倉吉体育文化会館大研修室・中研修室・小研修室 チャンプ本：『15歳のテロリスト』(松村涼哉/著・KADOKAWA)湯梨浜学園高校	61 (8校 13人出場)
県立図書館職員が講師を務めた研修	内容：新任司書教諭研修(全)「学校図書館と司書教諭の役割」 開催日：6月13日 会場：県教育センター	16
	内容：司書教諭研修(小・義・特)「学校図書館の活用と司書教諭の果たす役割」 開催日：6月13日 会場：県教育センター	86
	内容：司書教諭研修(中・義・高)司書教諭研修(中・義・高)「学校図書館の活用と司書教諭の果たす役割」 開催日：6月13日 会場：県教育センター	65
	内容：鳥取市学校司書・司書教諭研修会「学校司書・司書教諭の役割と1人1台端末時代の学校図書館の充実にむけて」 開催日：6月22日 会場：鳥取市総合教育センター	108
	内容：湯梨浜町レファレンス研修「資料相談の基本のキ」 開催日：6月30日 会場：湯梨浜町立図書館	10
	内容：県立まなびの森学園体験授業会「図書の時間」 開催日：7月16日 会場：鳥取市役所市民交流センター	5

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
県立図書館職員が 講師を務めた研修	内容:琴浦町学校図書館司書連絡会「1人1台端末時代の学校図書館の充実にむけて」 開催日:8月17日 会場:琴浦町立船上小学校	16
	内容:二部小学校校内授業研究会 5年生国語科授業における図書館・ICT活用 1、2年生指導案事前検討 開催日:8月23日 会場:伯耆町立二部小学校	12
	内容:令和5年度南部町・江府町学校司書合同研修会「レファレンスの基礎知識」 開催日:8月23日 会場:江府町立図書館	24
	内容:令和5年度第1回大山町学校図書館司書研修会「特別な教育的ニーズを支える学校図書館」 開催日:9月12日 会場:大山町名和公民館	13
	内容:溝口中学校区合同研修会1年国語科「はなしをたのしくつなごう」 開催日:10月3日 会場:伯耆町立二部小学校	41
	内容:令和5年度第2回大山町学校図書館司書研修会「著作権～事例について考えてみよう～」 日時:10月24日 会場:大山町立図書館	8
	内容:東部小教研図書館部会秋季研修「生成A Iの利用に関するガイドライン」 開催日:10月25日 会場:県立図書館	44
	内容:三朝町学校図書館定例会 公開授業 2年生活科「みんなでつかうまちのしせつ」での指導助言 開催日:11月7日 会場:三朝小学校	11
	内容:鳥取市学校司書連絡会「魅力的な学校図書館～つなげる・ひろげる・そだてる～」 開催日:11月11日 会場:県立図書館	20
	内容:倉吉市学校司書研修会「つなげる～学校図書館と倉吉市立図書館～」 開催日:11月30日 会場:倉吉交流プラザ	35
	内容:米子南高校「図書館活用講演会」 日時:1月10日 会場:米子南高等学校	113
	内容:鳥取大学附属特別支援学校専攻科研究ゼミ「著作権について」 日時:1月25日 会場:鳥取大学附属特別支援学校	15
内容:鳥取県立米子養護学校「はーとふるサービスや公共図書館利用につながる話、ブックトーク(心の悩みなど)」 日時:2月5日 会場:米子養護学校	23	

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
デジタル化時代の知の拠点づくり事業		
電子書籍の導入および広報	内容:「鳥取県立図書館電子書籍サービス」の導入 開始日:令和6年1月4日(木) ※令和5年12月1日(金)～令和6年1月3日(水)は試行期間 利用できる電子書籍:Kinoden(紀伊國屋書店) 利用方式:閲覧方式(他の方のアクセスが終了すれば閲覧可能) 利用可能冊数:1,607冊(専門書・学術書・英語多読用資料等) その他: ・ 県立図書館のカード保有者だけでなく、市町村立図書館や学校図書館のカード保有者も利用可能 ・ 試行期間中の取り組み(読書バリアフリー対応)について当館	-
(電子書籍の導入および広報)	ホームページに掲載 内容①:電子図書館フォーラム「電子書籍の最新事情 何ができる?どう変わる?」 講演:「電子書籍と図書館・出版～これまでとこれから～」 講師:専修大学文学部教授 報告:「いつでも・だれでも・どこからでも～鳥取県立図書館電子書籍スタート!」 報告者:県立図書館職員 内容②:トークセッション「電子書籍と図書館・本の未来～期待と不安を語り尽くそう!～」 登壇者:専修大学文学部教授(前出)、印刷会社代表取締役社長、NPO法人代表理事、伯耆町立図書館副館長 開催日:令和6年2月3日(土) 場所:県立図書館	98
資料デジタル化研修の実施	内容:オンデマンド配信による動画視聴、「準デジタルアーキビスト」資格取得に向けた講習会及び認定試験 開催日:(動画視聴)令和6年1月25日(木)～2月16日(金) (講習会および認定試験)令和6年2月9日(金) 場所:オンライン開催	20
「とりデジ」の広報・研修	内容:図書館員向けくずし字解読連続講座 開催日:①基礎編 11月30日(木) ②実践編 令和6年1月17日(水)、2月15日(木)、3月6日(水) 講師:県内郷土史家 場所:県立図書館およびオンライン開催 ※くずし字解読の成果をテキストデータ化し「とりデジ」に掲載	延べ31
	内容:「あたまイキイキ音読教室」において、郷土出身文学者及び「とりデジ」掲載資料の紹介 開催日:6月22日(木)、7月27日(木)(テーマ:尾崎放哉) 8月24日(木)(テーマ:阪本四方太) 場所:県立図書館	延べ60
	内容:特別資料展「新聞と鳥取」で「とりデジ」の地域紙見出し検索機能を紹介したチラシを配布 開催日:7月20日(木)～9月13日(水) 場所:県立図書館	1,530 (入場者数)
仕事とくらしに役立つ図書館推進事業(くらしに役立つ図書館推進事業)		
くらしに役立つ医療・健康情報サービス普及啓発事業講演会	内容:講演「医療・健康情報の見極め方と向き合い方」 講師:島根大学医学部付属病院 臨床研究センター・教授 報告:「鳥取県立図書館の医療・健康情報サービス」 報告者:県立図書館職員 開催日:10月1日(日) 場所:県立図書館(オンライン、サテライトあり)	89 (会場46 オン27 サテ16)
認知症本人ミーティング	内容、開催日、場所: ①図書館体験ツアー、6月21日(水)、県立図書館 ②貸出レシート変更案についての検討、8月9日(水)、鳥取市役所 鳥取市民交流センター 主催:鳥取県本人ミーティング委員会	①21 ②37

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
出前図書館	内容①:鳥取市認知症フォーラム2023(主催:鳥取市) 開催日:9月9日(土) 場所:さざんか会館 内容②:認知症啓発イベント「知って安心!みんなで学ぼう認知症」(主催:鳥取県) 開催日:11月18日(土) 場所:イオンモール鳥取北	①97 ②約150
医療情報サービス担当者連絡会議	内容:県内の病院図書室、大学図書館、公共図書館の医療情報サービス担当者が集まり意見交換、情報共有を行う。 開催日:3月12日(火) 場所:倉吉市立図書館、県立厚生病院	14
展示	・「認知症を知ろう、学ぼう、考えよう」(9月1日～29日) 世界アルツハイマーデー、世界アルツハイマー月間にあわせて展示 協力:県福祉保健部ささえあい福祉局長寿社会課 ・鳥取県医師会公開健康講座との連携展示 認知症について知ろう (5月2日～30日) 食道がんの話 (6月1日～29日) 再生医療の来し方行く末 (7月1日～30日) 心房細動 何が悪いの? (8月1日～30日) 健診結果を健康に生かすために(9月1日～29日) 健康診断の肝機能検査 (10月1日～11日) 骨卒中予防の最新情報 (10月13日～11月8日) フレイルと健康長寿 (11月10日～12月13日) 脳卒中に負けないために知っておきたいこと (12月15日～令和6年1月17日) ・鳥取県立中央病院市民講座との連携展示 高齢者肺炎について (6月1日～29日) ・世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間(3月1日～4月29日)	-
法情報・困りごと解決支援情報の提供	「法テラスの日」記念 休日無料電話法律相談会	-
	外国人無料相談会(鳥取県行政書士会) 12回開催	相談10件
	司法書士無料相談会(鳥取県司法書士会)12回開催	相談113件
「読みメンになろう!」プロジェクト事業	内容:読みメン月間の企画展示(読みメンにおすすめの絵本、リーフレット等の展示) ※53冊貸出 開催日:6月1日(木)～29日(木) 場所:県立図書館一般図書室階段横	-
	内容:読みメンのおはなし会(男性職員による絵本の読み聞かせ) 開催日:6月18日、8月6日、11月5日、令和6年1月14日(すべて(日)) 場所:県立図書館	42 (子ども22 大人20)
託児サービス「託児で来(らい)ぶらり」	内容:子ども連れで来館する利用者向け託児サービス 開催日:毎週水曜日(祝日・休館日を除く)の午前9時15分～11時45分 場所:県立図書館	55
あたまイキイキ音読教室	内容:新型コロナの影響で中止していた会場参集型音読教室を5月から再開。時間を40分に短縮。 開催日:毎月第4木曜日(祝日、休館日等により変更の場合あり)	218
あたまイキイキテレビ音読教室	内容:県立図書館ホームページへの誘導を目的としたケーブルテレビによる音読教室の放映 放送会社:(東部)日本海ケーブルネットワーク/(中部)鳥取中央有線放送/(西部)中海テレビ放送) 放送期間:11月(過去の放映は当館ホームページでも公開)	-
セカンドライフを楽しむための情報活用講座	内容:高齢者を対象としたスマートフォンを活用した情報収集についての講座 講師:県立図書館職員 開催日:2月28日(水) 場所:県立図書館	6

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
鳥取県読書バリアフリー推進に係る関係者協議会	内容:「鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画」に基づく鳥取県の読書バリアフリー推進事業等の取組状況等について、事業等の評価や進行に関する有識者等の意見を聴取。 開催日:(第1回)9月22日(木)、(第2回)2月16日(金) 場所:県立図書館大研修室(オンライン参加もあり) ※協議会委員総数は13名	第1回 12 (会場7 オン5) 第2回 12 (会場5 オン7)
サピエ図書館普及イベント	内容:「本を聞いて楽しむこともできます～いろいろな読書のカタチ～」 ・いろいろなカタチの読書を体験してみよう! ・デージー作成体験 ・大型絵本、Lレブックの読み聞かせ ・鳥取県読書バリアフリー計画のポスター掲示、県立図書館や鳥取県ライトハウス点字図書館のサービスチラシ配布など 共催:鳥取県ライトハウス点字図書館 開催日・場所: ・11月23日(木祝)(東部(イオンモール鳥取北)) ・8月20日(日)(中部(らくだカンファレンス4th・倉吉未来中心)) ・11月11日(土)、12日(日)(西部(イオンモール日吉津))	東部40 中部32 西部—
マルチメディアデージー図書の製作	マルチメディアデージー図書の製作:わいわい文庫「日本昔話の旅」(伊藤忠記念財団実施事業) タイトル:「うつぶきやまのてんにょ」 テキスト:「うつぶきやまのてんにょ」(紙芝居、出版:倉吉青年会議所) イラスト:倉吉東高校(美術の探究学習) 音声:音訳ボランティアグループ「ありんこ」 ※伊藤忠記念財団より全国の希望する学校や公共図書館等に無償配布	—
手話で楽しむおはなし会	開催日:毎月第4日曜日	延べ131 (子ども63 大人68)
バリアフリー映画上映会	内容:①鳥取県読書バリアフリー計画・県立図書館「はーとふるサービス」紹介 ②映画上映(上映作品「きみの瞳が問いかけている」) 開催日:3月13日(水) 場所:県立図書館大研修室	67
障がい者サービス実務担当者会	内容:図書館サービスの向上を目指し、図書館利用に障がいのある方々に対する各館の取組について情報共有や協議を行う。 開催日:1月19日(金) 場所:琴浦町生涯学習センター まなびタウンとうはく	25
展示	内容:世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間(3月1日～4月10日) マルチメディアデージー～「読みかた」のカタチ～(5月1～30日)など	—
仕事と暮らしに役立つ図書館推進事業(図書館ビジネス支援推進事業)		
農と食を繋げるビジネス情報セミナー	内容①:「未来の農業そして食ビジネス最前線2024」 講師:(株)日本能率協会総合研究所マーケティング・データ・バンク職員 内容②:図書館活用講座 講師:県立図書館職員 内容③:「ローカル酵母で新たな地域価値の創造を目指す」 講師:鳥取大学農学部教授 内容④:パネルディスカッション「美味しさと感動をつくるために～知識や技術で商品開発を～」 パネリスト:(株)日本能率協会総合研究所マーケティング・データ・バンク職員、酒造株式会社代表取締役、伯州綿利活用研究会代表 コーディネーター兼講師:(地独)鳥取県産業技術センター職員 開催日:2月11日(日) 共催:米子市立図書館 場所:米子市立図書館	75

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
夢・実現スタート アップ創業勉強会	内容①:「図書館で創業や経営に役立つリサーチ・マーケティング 力をつけよう」 講師:鳥取県よろず支援拠点コーディネーター 内容②:図書館から情報提供 提供:米子市立図書館職員 内容③:相談会(3組3名) 開催日:9月10日(日) 共催:米子市立図書館 場所:米子市立図書館第3・第4研修室	3
	内容①:「図書館で創業や経営に役立つリサーチ・マーケティング 力をつけよう」 講師:鳥取県よろず支援拠点コーディネーター 内容②:図書館から情報提供 提供:県立図書館職員 内容③:相談会(3組3名) 開催日:9月13日(日) 場所:県立図書館大研修室	12
	内容①:「図書館で創業や経営に役立つリサーチ・マーケティング 力をつけよう」 講師:鳥取県よろず支援拠点コーディネーター 内容②:図書館から情報提供 提供:県立図書館職員 内容③:相談会(2組2名) 開催日:9月16日(土) 共催:倉吉市教育委員会 場所:倉吉交流プラザ第一研修室	4
高校生ビジネスプ ラン作成講座 ※西部では2年連続 の開催、東部は過去 最多の参加者数	内容①:ビジネスプラン作成講座(アイデア発想編) 講師:(株)日本政策金融公庫職員 内容②:図書館からの情報提供 提供:米子市立図書館職員 内容③: I N P I T 鳥取県知財総合支援窓口のご紹介、J-P l a t P a t 操作体験 紹介: I N P I T 鳥取県知財総合支援窓口職員 内容④:プラン作成、発表 開催日:8月2日(水) 主催:(株)日本政策金融公庫、県立図書館 共催:米子市立図書館 場所:米子市立図書館	4 (1校 2グループ)
	内容①:ビジネスプラン作成講座(アイデア発想編) 講師:(株)日本政策金融公庫職員 内容②:図書館活用講座 講師:県立図書館職員 内容③: I N P I T 鳥取県知財総合支援窓口のご紹介、J-P l a t P a t 操作体験 紹介: I N P I T 鳥取県知財総合支援窓口職員 内容④:プラン作成、発表 開催日:8月3日(木) 主催:(株)日本政策金融公庫、県立図書館 場所:県立図書館	14(3校・5ゲ ループ)
県立図書館と産業 支援機関との連携 展示	内容:高校生ビジネスプラン作成講座関連展示 展示期間:7月1日(土)~8月30日(水)/展示場所:県立図書館 展示期間:8月23日(水)~9月22日(金)/展示場所:倉吉東高校 展示期間:9月14日(木)~10月12日(木)/展示場所:鳥取商業高校 展示期間:9月11日(月)~9月21日(木)/展示場所:米子東高校 展示期間:9月22日(金)~10月4日(水)/展示場所:米子南高校 連携機関:日本政策金融公庫	-
ビジネス情報相談 会の開催	内容:県立図書館司書と「鳥取県よろず支援拠点」の相談員による 相談会 鳥取会場 4~3月の毎月第3火曜日 倉吉会場 4~3月の毎月第1水曜日 米子会場 4~3月の毎月第3金曜日	鳥取12件 倉吉3件 米子8件

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
関係機関と連携し 定期相談会	内容:創業・融資相談会((株)日本政策金融公庫と連携) 開催日:4~3月の毎月第2日曜日 場所:県立図書館	15
	内容:起業・経営なんでも相談会((一社)鳥取県中小企業診断士協会と連携) 開催日:4~3月の毎月第2日曜日 場所:県立図書館	
	内容:知財無料相談会(INPIT鳥取県知財総合支援窓口と連携) 開催日:4~3月の毎月第3火曜日 場所:県立図書館	19
	内容:就農相談会(鳥取県農業経営・就農支援センターと連携) 開催日:4~3月の年3回 場所:県立図書館	2
商工労働関連研修会、イベントへの 出前図書館等	内容:産業技術センター100周年記念式典 開催日:5月24日(水) 場所:とりぎん文化会館	約50
	内容:とっとり創業塾 開催日:9月3日(日) 場所:鳥取商工会議所	約20
	内容:銀行協会次席会 開催日:9月7日(木) 場所:山陰合同銀行鳥取営業本部ビル内会議室	10
	内容:協同組合鳥取卸センター「二十日会」ミニセミナー 開催日:10月19日(木) 場所:協同組合鳥取卸センター	21
	内容:第2回起業機運醸成セミナー 開催日:11月21日(火) 場所:隼L a b	46
	内容:農業者のための図書館活用ミニ講座 開催日:1月16日(火) 場所:キナルなんぶ	30
	内容:江府町身の文創業塾 開催日:3月2日(土) 場所:江府町なないろ	5
INPIT鳥取県 知財総合支援窓口 との連携	内容①:「J-PlatPat操作方法実務講習会」 講師:INPIT鳥取県知財総合支援窓口コーディネーター ・J-PlatPat(特許情報プラットフォーム)で商標・特許・ 意匠の検索実習 ・Graphic image Park(検索意匠公報検索支援 ツール)の使用方法 内容②:図書館活用講座 講師:県立図書館職員 開催日:9月1日(金) 場所:大研修室	11
ジェトロ鳥取との 共催セミナー	内容:貿易講座(県立図書館のビジネス支援情報提供20分) 講師:法務事務所代表 開催日:6月6日(火)、6月7日(水) 場所:大研修室	15
	内容:企業ブランディング講座(県立図書館のビジネス情報提供 20分) 講師:グローバルエッジ(株)職員 開催日:11月22日(水) 場所:大研修室	14

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
(ジェットロ鳥取との共催セミナー)	内容:インドビジネスセミナー(県立図書館のビジネス情報提供20分) ①「インドのビジネス機会と環境～進出日系企業の課題と事例」 講師:日本貿易振興機構調査部職員 ②「『グローバルサウスの盟主』の虚像と実像」 講師:日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター職員 開催日:1月18日(木) 場所:大研修室	25
企画展示「鳥取県認定グリーン商品リレー展示2023」	展示物:鳥取県認定グリーン商品の実物展示、紹介パネルの展示など 主催:鳥取県認定グリーン商品普及促進協議会 展示館:4館(県立1館、市町村1館、高等学校2館) 期間:10月27日(木)～令和6年2月7日(水)	-
人の成長・学びを支える図書館推進事業		
児童サービス専門講座	「10代の読書を考えるーヤングアダルト文学と読者をつなぐ」 講師:白百合女子大学人間総合学部児童文化学科教授 開催日:2月14日(水) 場所:県立図書館およびオンライン	82
児童サービス実務研修	内容:第1回(赤ちゃん向け絵本の読み聞かせ) 講師:鳥取県図書館協会会長・児童書を楽しむ会つくしんぼ代表 開催日:6月15日(木) 会場・共催館:キナルなんぶ・南部町立図書館	30
	内容:第2回(幼児から小学校低学年頃を対象とした絵本の読み聞かせ) 講師:県立図書館職員 開催日:9月28日(木) 会場・共催館:湯梨浜町中央公民館・湯梨浜町立図書館	27
	内容:第3回(POPの作り方) 講師:書店関係者 開催日:令和5年11月29日(水) 会場・共催館:倉吉交流プラザ・倉吉市立図書館	20
サポートが必要な家庭応援事業	・美術展「ヨシタケシンスケ展かもしれない」(倉吉博物館)でのフォトスポット設置、パネル展示、チラシ配布(4月8日～5月7日) ・館内展示「『としょかんだったら、だいじょうぶ!としょかんだから、だいじょうぶ!』 by ヨシタケシンスケ」(令和5年3月1日～4月29日) ・館内展示「ストップ!DVなくそう!児童虐待」(11月1日～29日)	-
郷土情報発信事業		
ふるさとの歴史再発見事業	内容:特別資料展「鳥取と新聞ー新聞が伝えるふるさとー」 展示期間:7月20日(木)～9月13日(水) 場所:県立図書館特別資料展示室 (関連講座) 内容:「新聞の役割について考えよう」※夏休み図書館まつり 講師:新日本海新聞社記者、県立図書館職員 開催日:7月26日(水) 場所:県立図書館大研修室	1,530 (関連講座) 10
	内容:特別資料展「アマチュア演劇を生きるー鳥取県立図書館所蔵難波忠男寄贈資料を中心にー」 展示期間:11月17日(金)～12月4日(月) 共催:鳥取大学地域学部 場所:県立図書館特別資料展示室	471

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
(ふるさとの歴史再 発見事業)	内容:郷土文化講演会「生誕150年記念『鳥取近代俳句史における 阪本四方太と彼に続いた俳人達』」 講師:尾崎放哉研究家 開催日:9月17日(日) 場所:県立図書館大研修室(オンラインあり)	43
	内容:郷土文化講演会+定有堂「読む会」フォーラム 講師・登壇者:公立鳥取環境大学特任教授、元書店店主、館長 コーディネーター:総務省地域力創造アドバイザー 開催日:6月25日(日) 場所:県立図書館大研修室(オンラインあり)	135
	内容:鳥取県に伝わる昔話を聞く会 語り手:個人 開催日:第4土曜日(9回開催) 場所:県立図書館小研修室	159
郷土文学者情報発 信事業	内容:くずし字解読連続講座 講師:個人(郷土史家) 開催日:(第1回)11月30日(木)、(第2回)1月17日(水)、(第3回)2月 15日(木)、(第4回)3月6日(水) 場所:県立図書館大研修室	-
「文字・活字文化の 日」関連事業「ブッ クインとっとり記 念講演会」	内容:ブックイン鳥取2023 第36回地方出版文化功労賞受賞記念 講演会 講演1:「ありがとうの旅ー児童画500点、自転車こいで全国から」 奨励賞受賞者:暮らしの映像社代表 講演2:「盛岡の熱きアート基地『CAFÉモンタン』」 奨励賞受賞者:萬鉄五郎記念美術館館長 講演3:「鹿児島の近代化遺産『錫山鉱山遺構』」 特別賞受賞者:鹿児島大学名誉教授 開催日:11月4日(土) 共催:ブックインとっとり実行委員会 場所:オンライン開催	24
企画展示	内容:鳥取を知るならこの1冊~新しく鳥取に住む方へ~ 展示期間:4月1日(土)~5月10日(水) 場所:県立図書館ふるさと鳥取コーナー	-
	内容:鳥の本を楽しもう~5月10日~16日は愛鳥週間~ 展示期間:5月1日(月)~5月30日(火) 場所:県立図書館ふるさと鳥取コーナー	-
	内容:定有堂「読む会」フォーラム関連図書展示 展示期間:6月1日(木)~6月29日(木) 場所:県立図書館1階階段下通路展示コーナー及びふるさと鳥取 コーナー	-
	内容:ふるさととっとりパーソン 展示期間:6月9日(金)~継続中 場所:県立図書館ふるさと鳥取コーナー	-
	内容:戦後78年~戦争と平和を考える~ 展示期間:7月14日(金)~8月30日(日) 場所:県立図書館ふるさと鳥取コーナー	-
	内容:郷土文化講演会関連展示 阪本四方太と同時代の俳人達 展示期間:8月11日(木)~9月17日(日) 場所:県立図書館通路ギャラリー	-
	内容:鳥取大地震から80年 展示期間:9月1日(金)~29日(金) 場所:県立図書館通路ギャラリー	-

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
(企画展示)	内容: ブギウギ～脚本は倉吉市出身の足立紳さん～ 展示期間: 9月27日(水)～3月30日(土) 場所: 県立図書館郷土資料室雑誌コーナー前	-
	内容: 本で楽しむ鳥取城 ※鳥取市歴史博物館企画展関連 展示期間: 10月3日(火)～10月30日(月) 場所: 県立図書館ふるさと鳥取コーナー	-
	内容: 追悼 ありがとう 岩田廉太郎さん 展示期間: 11月1日(水)～12月13日(水) 場所: 県立図書館ふるさと鳥取コーナー	-
	内容: 鳥取県教育の父 遠藤董 展示期間: 12月1日(金)～令和6年1月21日(日) 場所: 県立図書館1階通路階段下	-
	内容: 年末年始を紙とともに 展示期間: 12月15日(金)～令和6年1月21日(日) 場所: 県立図書館ふるさと鳥取コーナー	-
	内容: 水木しげるロード開通30年記念 水木しげると妖怪のなか またち 展示期間: 2月2日(金)～令和6年3月30日(土) 場所: 県立図書館ふるさと鳥取コーナー	-
図書館国際交流事業		
国際交流ライブラ リー講演会	内容: モンゴル遊牧民の生活文化ー衣食住ー 講師: 国立民族学博物館名誉教授 開催日: 10月21日(土) 主催: 県立図書館 場所(主): 県立図書館大研修室 " (サテライト): 倉吉交流プラザ、岩美町立図書館、境港市民図 書館(4会場)	82
英語に親しむワー クショップ	内容: 鍵をさがせ! 英語じかけの宝箱(トレジャーボックス) 講師: あいずイングリッシュスクール主宰 開催日: 7月31日(月) 主催: 県立図書館 共催: 南部町立図書館 場所: キナルなんぶ多目的ルーム	39
多文化を知るイベ ント	内容: 図書館で「韓国」を楽しもう 講師: 鳥取県国際交流員 開催日: 12月16日(土) 主催: 県立図書館 共催: 琴浦町図書館 場所: まなびタウンとうはく研修室	34
国際交流ライブラ リー企画展示	内容: 鳥取県が交流している「ブラジル」を紹介します 展示期間: 3月1日～5月30日 場所: 県立図書館通路ギャラリー、郷土ギャラリー、郷土ギャラリーの 展示ケース	-
	内容: 大人も子どもも、英語多読を楽しもう 展示期間: 6月1日～9月13日 場所: 県立図書館通路ギャラリー	-
	内容: 大人も子どもも、英語多読を楽しもう 展示期間: 7月13日～8月31日 場所: 児童カウンター前	-
	内容: 米子⇄ソウル便国際定期便の運航が再開します! 鳥取県か ら一番近い海外「韓国」を知ろう! 展示期間: 7月14日～令和6年1月21日※国際観光・万博課と連携 場所: 郷土資料室の雑誌コーナー前、1階 階段横、県立図書館通路 ギャラリー	-

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
国際交流ライブラリー企画展示	内容:モンゴルってどんな国?(講演会に関する展示) 展示期間:9月15日~10月30日 場所:県立図書館通路ギャラリー	-
	内容:米子⇄香港便 定期便再開!2月26日まで週4往復!この機会に「香港」を知ろう! 展示期間:令和6年1月12日~2月28日 ※国際観光・万博課と連携 場所:県立図書館通路ギャラリー	-
	内容:鳥取県が交流しているジャマイカを紹介します 鳥取から世界へ JICA海外協力隊の活動を紹介します(日本とジャマイカ外交関係樹立60周年記念事業) 展示期間:令和6年2月2日~4月10日 ※交流推進課及びJICAと連携 場所:県立図書館通路ギャラリー及び郷土通路ギャラリー、階段壁面	-
	内容:台湾を知ろう! 展示期間:令和6年2月16日~4月10日 ※国際観光・万博課と連携 場所:県立図書館通路ギャラリー	-
	内容:ピーナッツに見るアメリカ文化「子どものマネー教育」 展示期間:2月10日~6月29日 ※交流推進課及びわらべ館と連携 場所:県立図書館通路ギャラリー	-
	内容:ピーナッツに見るアメリカ文化「黄色のスクールバスで学校へ」 展示期間:7月1日~9月29日 場所:県立図書館通路ギャラリー	-
	内容:ピーナッツに見るアメリカ文化「Halloween(ハロウィーン)」 展示期間:10月1日~11月29日 場所:県立図書館通路ギャラリー	-
	内容:ピーナッツに見るアメリカ文化「American football(アメリカンフットボール)」 展示期間:12月1日~令和6年2月18日 場所:県立図書館通路ギャラリー	-
内容:ピーナッツに見るアメリカ文化「うるう年」 展示期間:令和6年2月19日~令和6年4月10日 場所:県立図書館通路ギャラリー	-	
市町村立図書館等協力支援事業		
図書館業務専門講座	内容:人口減少時代の図書館サービス~市民のウェルビーイング向上と地域活性化~ 講師:愛知県田原市図書館館長 開催日:6月9日 場所:県立図書館及びオンライン	25
	内容:障がい者サービスの始め方~地域での読書バリアフリーを実現するために~ 講師:埼玉県立久喜図書館司書主幹 開催日:8月25日 場所:県立図書館及びオンライン	28
	内容:著作権法改正とこれからの図書館サービス~公衆送信ガイドラインの解説と実際~ 講師:日本図書館協会著作権委員会委員長、調布市立図書館主幹 開催日:9月15日 場所:倉吉交流プラザ及びオンライン	37
	内容:「住民に本を届けるために始めたこと・続けたこと~島まるごと図書館構想の現在地~」 講師:海士町中央図書館長 開催日:3月15日 場所:県立図書館及びオンライン	26

名 称	内容・日時(開催日)・場所等	参加人数 (人)
図書館業務専門講座+α	内容:くずし字解読連続講座【再掲】 講師:郷土史家 開催日:基礎編(11月30日)、実践編(1月17日、2月15日、3月6日)	3回目まで 延べ31
新任職員のための 図書館職員実務研修会	内容:①講義1「住民に役立ち、地域に貢献する図書館を実現するために」 ②事業説明「県立図書館の市町村立図書館支援・学校図書館支援について」 ③講義2「資料相談(レファレンス)の基礎知識とデータベース活用法」 ④講義3「本の正しい扱い方と本の補修」 ⑤講義4「郷土資料の収集と活用法」 講師・説明者:県立図書館職員 開催日:4月21日 場所:県立図書館及びオンライン	35
県立図書館職員が 講師を務めた研修	内容:障がい者サービスの進め方 開催日:6月29日 開催市町村:北栄町	10
	内容:レファレンス研修「資料相談の基本のキ」【再掲】 開催日:6月30日 開催市町村:湯梨浜町	10
	内容:読みメン読み聞かせ講座 開催日:7月29日 開催市町村:琴浦町	20
	内容:令和5年度南部町・江府町学校司書合同研修会(テーマ:レファレンス)【再掲】 開催日:8月23日 開催市町村:江府町(ほか西部市町村)	24
	内容:令和5年度第1回大山町学校図書館司書研修会「特別な教育的ニーズを支える学校図書館」【再掲】 開催日:9月12日 会場:大山町名和公民館	11
	内容:音読教室リーダー養成講座 開催日:10月26日 開催市町村:米子市	31
	内容:第2回学校図書館司書研修会(テーマ:著作権)【再掲】 開催日:10月24日 開催市町村:大山町	8

「サービス指標」に係る実績と評価

項目	指標		令和3年度 実績数値	令和4年度 実績数値 (参考)	令和5年度 実績数値	実績評価	令和9年度 目標数値	目標数値算出のための 想定内容
【第1の柱】 「仕事とくらしに役立つ図書館」を実現します。	1	利用者からの資料相談件数	14,619件	14,567件	15,032件	A	15,100件	毎年約100件(0.7%)の増
	2	ビジネス関係の相談会の相談件数	43件	46件	48件	B	58件	毎年3件(7.0%)の増
	3	医療・健康関係(49類)の図書・雑誌の貸出冊数	17,206冊	22,285冊	22,488冊	A	20,200冊	毎年600冊(3.5%)の増
【第2の柱】 「生涯を通じての人の成長・学びを支える図書館」を実現します。	4	小学校	96.7%	97.5%	98.3%	B	100%	全校で実施
		中学校	62.5%	75.0%	75.0%	A	71%	毎年1校の増
		高等学校	34.4%	25.0%	28.1%	C	50%	毎年1校の増
		特別支援学校	80.0%	70.0%	70.0%	C	100%	全校で実施
	5	子どもの読書に関する研修を主催した市町村立図書館の数	6館	9館	11館	A	11館	毎年1館の増
	6	情報リテラシー教育に取り組む県内の図書館数	4館	3館	1館	D	9館	毎年1館の増
【第3の柱】 「鳥取県の文化を育み世界に発信する図書館」を実現します。	7	郷土資料の所蔵数	151,710点	153,818点	156,685点	B	166,700点	毎年2,500点(1.6%)の増
	8	県立図書館HPの「鳥取県の情報」へのアクセス数	32,095件	79,127件	24,479件	C	33,600件	毎年約300件(0.9%)の増
	9	環日本海交流室、国際交流ライブラリー資料の貸出数	16,507冊	14,794冊	14,782冊	D	19,700冊	毎年約200冊(1.2%)の増
(第4の柱) 「知の拠点としての図書館」を実現します。	10	横断検索のアクセス件数	103,341件	92,905件	96,687件	D	110,000件	毎年約1,000件(1.0%)の増
	11	全県で共同利用している商用データベースの閲覧ページ数	17,365頁	18,513頁	17,839頁	C	27,500頁	毎年2,000頁の増
	12	電子書籍の利用件数	0件	—	(3カ月) 4,138件	A	9,000件	R5:5,000件、その後毎年1,000件の増 ※R6.1.4本格稼働開始
【キーワード】 ネットワーク	13	県立図書館から市町村立図書館、学校図書館等への協力貸出(※1)冊数	100,076冊	95,650冊	94,960冊	C	102,500冊	毎年約500冊(0.5%)の増
	14	市町村立図書館、学校図書館等からの資料相談件数	176件	162件	197件	B	230件	毎年約10件(5.7%)の増
【キーワード】 専門性	15	認定司書(※2)の資格を取得した職員の数	5名	5名	6名	C	10名	毎年1名の増
	16	鳥取県立図書館主催の図書館業務専門講座に参加した市町村立図書館の数	18館	19館	17館	B	19館	全館で実施
【キーワード】 発信力	17	県立図書館ホームページのトップページへのアクセス件数	349,951件	519,764件	322,725件	D	380,000件	毎年約5,000件(1.4%)の増
	18	県立図書館SNS(Instagram)のフォロワー数	0名	200名	568名	A	700名	R4:200名、その後毎年100名の増
【キーワード】 保存と公開	19	とっとりデジタルコレクションの県立図書館のデジタル化資料へのアクセス数	20,925件	47,972件	48,108件	A	27,000件	毎年約1,000件(4.8%)の増
	20	とっとりデジタルコレクションへの参加自治体・機関の数	4機関	4機関	4機関	未評価	14団体(機関)	毎年2団体(機関)の増

※1 協力貸出：都道府県立図書館が県内の図書館等に対して貸出を行うこと。

※2 認定司書：公益財団法人日本図書館協会が認定する司書。図書館における実務経験や実践的知識・技能を継続的に修得した者を評価し、各地域の図書館経営の中核を担う司書として認定するもの。

■評価基準

(A) 既に達成(100%以上)、(B) 順調(80~99%)、(C) やや遅れている(50~79%)、(D) 遅れている(0~49%)

電子書籍サービス

利用案内



本や資料を
探す



調べる
相談する



鳥取県の
情報



ホーム > 鳥取県立図書館について > 統計データ > 全国から見た鳥取県の位置 (令和5年度)

▶ 全国から見た鳥取県の位置 (令和5年度)

ポスト シェアする LINEで送る

『日本の図書館 2023』（日本図書館協会）のデータを元に集計しています。

全国から見た鳥取県の公共図書館の位置 (令和4年度実績)

	図書館 設置率	個人 貸出数	資料費	蔵書冊数		受入冊数		個人 貸出数
				総数	人口 百人当	総数	人口 千人当	
	R5.4.1 現在	人口 百人当	人口 1人当	総数	人口 百人当	総数	人口 千人当	人口 1人当
全国順位 (昨年順位)	1位 (1位)	11位 (13位)	5位 (3位)	43位 (43位)	2位 (2位)	39位 (38位)	1位 (1位)	6位 (6位)
鳥取県の 数値	100%	504冊	306円	4,136千冊	749冊	122千冊	221冊	5.7冊
全国平均	77%	490冊	212円	9,899千冊	365冊	288千冊	107冊	4.9冊
※市町村立図書館のみの数値				※県立図書館を含んだ数値				

※貸出冊数、受入冊数は令和4年度の数値。資料費は令和5年度予算額。蔵書冊数は令和4年度末の数値。

全国から見た鳥取県立図書館の位置 (令和4年度実績)

	個人 貸出数	資料費	蔵書冊数		受入冊数	
			総数	人口 百人当	総数	人口 千人当
	人口 百人当	人口 1人当	総数	人口 百人当	総数	人口 千人当
全国順位 (昨年順位)	4位 (4位)	2位 (1位)	10位 (11位)	1位 (1位)	6位 (7位)	1位 (1位)
鳥取県の数値	66冊	184円	1,254千冊	227冊	29,638冊	53冊
全国平均	12冊	21円	1,123千冊	40冊	18,598冊	7冊

※貸出冊数、受入冊数は令和4年度の数値。資料費は令和5年度予算額。蔵書冊数は令和4年度末の数値。

鳥取県立図書館の活動実績

鳥取県立図書館のすがた (令和6年度版)

令和5年度の鳥取県立図書館の活動実績や動き、6年度の計画などをまとめています。

鳥取県立図書館について

- ▶ 図書館の理念 (図書館像)
- ▶ 図書館のすがた (図書館要覧)
- ▶ 30周年記念事業 (令和2年度)
- ▶ 外部からの評価
- ▶ 資料デジタル化計画
- ▶ サービス案内 (印刷物など)
- ▶ 統計データ
- ▶ 例規集
- ▶ 鳥取県立図書館協議会
- ▶ 災害時等の実施計画
- ▶ 鳥取県立図書館の書籍購入費

Myライブラリ

貸出状況/予約
貸出延長/遠隔地返却



鳥取県立図書館について

鳥取県立図書館協議会

鳥取県図書館協会

よくある質問

報道提供資料

🔍 県立図書館蔵書検索

📌 図書館員向け情報

 鳥取県立図書館
Facebook

 鳥取県立図書館
Twitter

■鳥取県の新型コロナウイルス感染者数と来館者数の比較

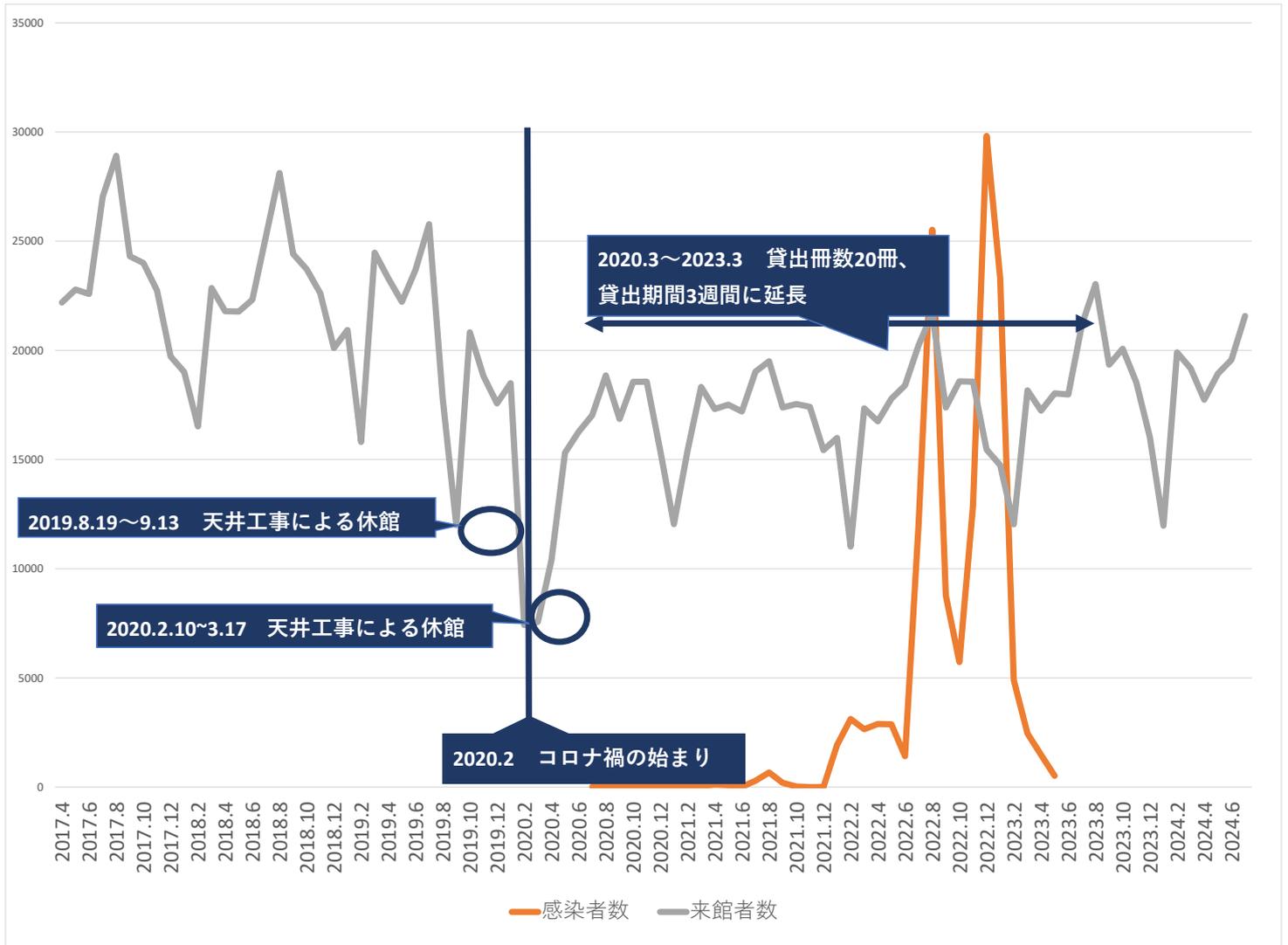
※2017(H29).4(コロナ禍前)～2024(R6).7(現在)

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
2017(H29)年度													
来館者数	22,194	22,786	22,581	27,026	28,910	24,313	23,998	22,745	19,720	19,011	16,515	22,855	272,654
2018(H30)年度													
来館者数	21,794	21,776	22,317	25,229	28,125	24,414	23,715	22,614	20,102	20,935	15,808	24,472	271,301
2019(R1)年度													
来館者数	23,301	22,225	23,686	25,782	17,815	11,994	20,825	18,821	17,570	18,502	7,419	8,565	216,505
2020(R2)年度													
感染者数	3			12	7	13	2	20	61	80	11	50	
来館者数	10,384	15,310	16,270	17,029	18,856	16,856	18,562	18,565	15,397	12,040	15,393	18,326	192,988
2021(R3)年度													
感染者数	113	92	15	293	671	193	31	1	0	1,924	3,121	2,649	
来館者数	17,317	17,513	17,204	19,029	19,501	17,385	17,544	17,415	15,434	15,988	11,019	17,345	202,694
2022(R4)年度													
感染者数	2,892	2,880	1,416	12,063	25,519	8,781	5,725	12,868	29,818	23,302	4,898	2,453	
来館者数	16,750	17,794	18,392	20,239	21,688	17,387	18,585	18,567	15,456	14,744	12,033	18,164	209,799
2023(R5)年度													
感染者数	1,475	519	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
来館者数	17,242	18,030	17,978	21,175	23,035	19,346	20,075	18,533	16,017	11,969	19,911	19,175	222,486
2024(R6)年度													
感染者数	-	-	-	-	-								
来館者数	17,740	18,931	19,572	21,574									77,817

※感染者数は中国新聞のHP「<https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/137405>」より

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020.3から2023.3まで貸出冊数を20冊、貸出期間を3週間に延長した。

※2019.8.19～9.13及び2020.2.10～3.17は天井工事により休館。



■ 鳥取市の年代別人口と貸出冊数の比較 ※2017(H29)年度（コロナ禍前）～2024(R6)年度（現在）

◇年齢別貸出冊数◇

	【年齢別】											総冊数	貸出延人数
	6歳以下	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	230～239歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
2017(H29).4～8(A) コロナ前	8,759	12,813	2,143	1,826	3,904	10,546	37,205	36,367	25,794	36,613	17,290	193,260	50,982
2020(R2).4～8 コロナ禍	8,739	9,327	2,041	1,976	3,807	7,872	29,569	34,548	22,712	26,904	18,167	165,662	36,330
2023(R5).4～8(B) 今年度	7,794	10,098	2,071	1,150	2,614	7,310	23,919	29,129	20,588	24,861	23,083	152,617	31,815
2024(R6).4～8(B) 今年度	8,588	8,818	1,939	1,548	2,569	6,448	22,311	29,347	20,111	23,858	23,856	149,393	32,047
今年度とコロナ前比 (B/A)	98.0%	68.8%	90.5%	84.8%	65.8%	61.1%	60.0%	80.7%	78.0%	65.2%	138.0%	77.3%	62.9%

※2017年度（コロナ前）、2020年度（コロナ禍）、2022年度（昨年度）の該当月までの合計と今年度を比較。

※年度比95%以下に青、105%以上に赤を着色

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020.3から2023.3まで貸出冊数を20冊、貸出期間を3週間に延長している。

◇鳥取市の人口◇

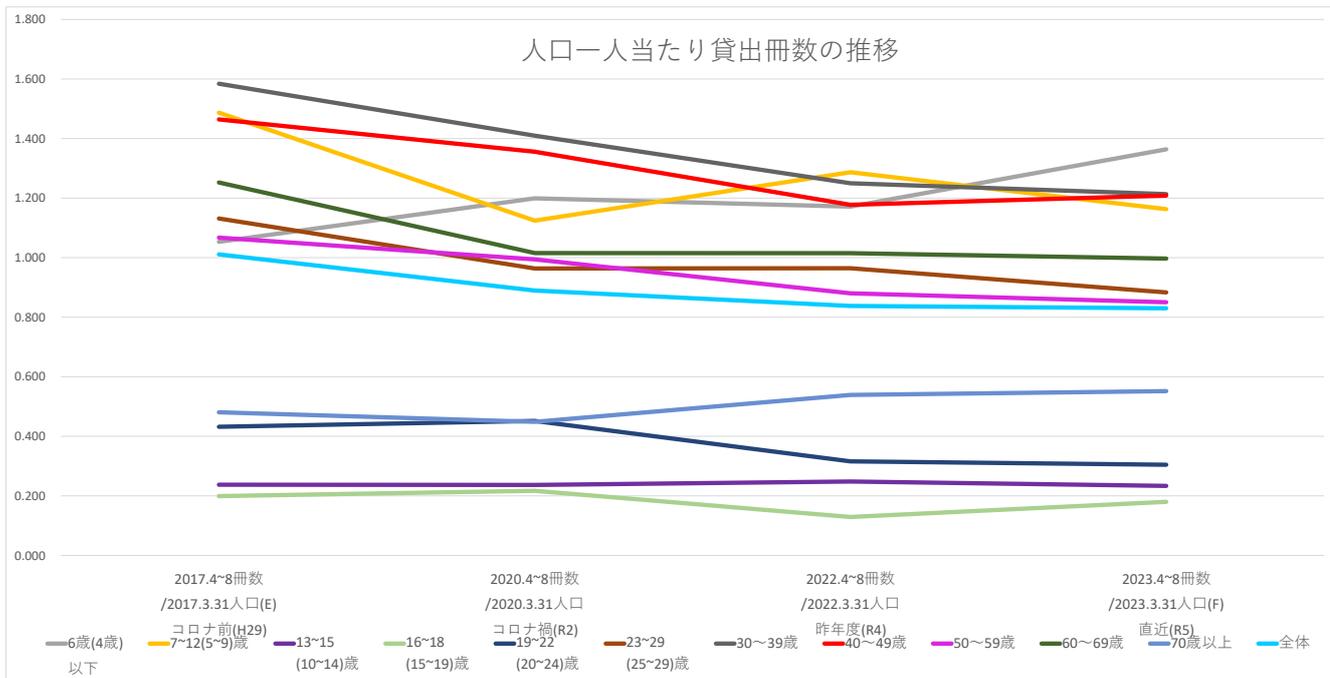
	4歳以下	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総人口
	2017(H29).3.31時点◎ コロナ前	8,316	8,617	9,022	9,167	9,033	9,320	23,486	24,836	24,168	29,232	35,955
2020(R2).3.31時点 コロナ禍	7,288	8,295	8,619	9,101	8,428	8,167	20,974	25,482	22,844	26,497	40,486	186,181
2023(R5).3.31時点(D) 直近	6,654	7,846	8,340	8,903	8,273	7,579	19,140	24,738	23,385	24,490	42,815	182,163
2024(R6).3.31時点(D) 直近	6,297	7,582	8,303	8,595	8,435	7,299	18,387	24,282	23,652	23,930	43,235	179,997
直近とコロナ前比 (D/C)	75.7%	88.0%	92.0%	93.8%	93.4%	78.3%	78.3%	97.8%	97.9%	81.9%	120.2%	94.2%

※年度比95%以下に青、105%以上に赤を着色

◇各年度4～8月の一人当たり貸出冊数◇

	6歳(4歳)以下	7～12(5～9)歳	13～15(10～14)歳	16～18(15～19)歳	19～22(20～24)歳	23～29(25～29)歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	全体
2017.4～8冊数 /2017.3.31人口(E) コロナ前(H29)	1.053	1.487	0.238	0.199	0.432	1.132	1.584	1.464	1.067	1.252	0.481	1.011
2020.4～8冊数 /2020.3.31人口 コロナ禍(R2)	1.199	1.124	0.237	0.217	0.452	0.964	1.410	1.356	0.994	1.015	0.449	0.890
2022.4～8冊数 /2022.3.31人口 昨年度(R4)	1.171	1.287	0.248	0.129	0.316	0.965	1.250	1.178	0.880	1.015	0.539	0.838
2023.4～8冊数 /2023.3.31人口(F) 直近(R5)	1.364	1.163	0.234	0.180	0.305	0.883	1.213	1.209	0.850	0.997	0.552	0.830
直近とコロナ前比	129.5%	78.2%	98.3%	90.4%	70.5%	78.1%	76.6%	82.5%	79.7%	79.6%	114.7%	82.1%

※年度比95%以下に青、105%以上に赤を着色



◇考察など◇

- ・総冊数の減少に比べて、貸出延人数の減少幅が大きい。
- ・1人当たりの貸出冊数は6歳以下、70歳以上の年代で増加している。